

平成30年度 第2回 学長選考会議議事要録

日 時：平成30年6月19日（火）15：35～16：05
場 所：事務局第1会議室
出 席 者：種田委員（議長）、小田部委員、小野寺委員、川上委員、
内田委員（人文社会科学部長）、荒川委員（教育学部長）、
田内委員（理学部長）、増澤委員（工学部長）、戸嶋委員（農学部長）、
栗原委員（全学教育機構長）
欠 席 者：藤川委員、三浦委員

議 題

審議事項

- 1 学長選考会議議長代行の選出について
- 2 学長評価スケジュールの確認について

議 事 概 要

I 議事要録の確認

議長から、平成30年度第1回学長選考会議議事要録について、既に大学ホームページに公表済みである旨の報告があった。

II 審議事項

- 1 学長選考会議議長代行の選出について
議長が会議規則第5条第3項の規定に基づき学長選考会議議長代行に小田部委員を指名し、承認された。
- 2 学長評価スケジュールの確認について
事務局から実施方法及びスケジュールについて資料2～5及び参考資料1～3により説明があり、承認された。
委員から第3回学長選考会議の開催時間を15時30分から16時からに変更してほしいとの依頼があり、日程調整をすることとなった。

【主な意見】 ○委員 ●議長・事務局

- 大学の実績に対して学長がどれだけリーダーシップを発揮したかという観点で評価するのか。それとも、学長個人の行った研究に対する評価なのか。
- 法人の長としての評価であり、個人の評価ではない。ただし、その研究が大学として取り組んだものであれば評価の要素にはなるではないか。
- 学長選考会議が策定した「望ましい学長像」及び「学長就任時の所信表明に掲げた内容」を踏まえて、各項目の取り組み及びその達成状況について、業績の評価を行うことになっているが、達成状況はゴールが示されていないと判断できない。「望ましい学長像」及び「所信表明」をみればゴールがわかるのか。達成状況の評価が難しい。
- 参照資料の前年度の年度計画達成状況、事業報告及び財務諸表を踏まえて前年度の事業について評価をしていただく。「望ましい学長像」及び「学長就任時の所信表明

の内容」は、その評価の前提として参照していただきたい。

- 資料の達成状況は自己評価であり、これは学長が達成したと考えているということ
でいいのか。評価は、第三者の目で達成したかということでもいいか。
- 今までは、資料に基づいて個人の視点で学長のプレゼンとの関連を勘案して評価を
行っている。
- この評価は、大学の評価をするのか。学長としての施策を評価するのかの線引きが
難しい。
- 大学の業績を達成状況まで導いた学長の評価をしていただきたい。
- それぞれの委員の視点での評価でいいのではないか。
- 過去の評価でも、いろいろな意見があるので、率直な意見でいい。